



「ムギ・マメのススメ」オンライン開催

# 北陸麦・大豆サロン

国産麦・大豆への関心が高まっています。特に、水田率が高い北陸地域においては、麦・大豆の生産拡大への好機となっています。本サロンでは、北陸農政局管内で小麦の生産拡大を行っている団体等や、新たな食の選択肢として注目されている大豆ミートの実需者等から情報提供を行い、麦・大豆の需要に応じた生産に係る意見交換等を行います。

**麦** 1月26日(木)  
14:00~15:30

**大豆** 1月27日(金)  
14:00~15:30

参加  
無料

## ープログラムー

### ●はじめに●

・需要に応じた麦の生産に向けて  
(農林水産省)

### ●ゼロ生産からの小麦の復活●

・新潟小麦の会事務局 丸榮製粉(株)取締役 大谷氏  
(新潟市)

県産小麦の復活をスローガンに、生産者、実需者、行政等が連携し、栽培技術の向上を図り、供給量が大幅アップ。マルエイファーム(株)を設立し、自らも小麦生産に取り組んでいる。



・新潟県醤油協業組合理事長 佐田氏 (長岡市)

「100%新潟県産原料」で作った醤油を復刻させようと「新潟県産醤油復刻プロジェクト」を立ち上げ、新潟県内小麦の認知度向上に取り組む。



### ●小麦の生産技術等について● (品種、排水対策、肥培管理を中心に)

農研機構中日本農業研究センター (上越拠点)  
水田利用研究領域 島崎氏

## ープログラムー

### ●はじめに●

・需要に応じた大豆の生産に向けて  
(農林水産省)

### ●今、注目される大豆需要●

・(株)アサヒコ 購買部長 折原氏 (さいたま市)

出荷本数1,000万本を突破するなど話題の「豆腐バー」や「大豆・豆腐のお肉」を販売。さらに、R3から「やよい軒」でアサヒコの大豆ミートを使った定食メニューが販売開始。



・JA全農にいがた 米穀部 高橋氏 (新潟市)

(株)アサヒコ様などの実需者のニーズを把握し、需要に応じた大豆の安定供給を目指す。  
また、実需者の声を産地に届け、産地と連携して生産力強化に取り組む。



### ●大豆の生産技術等について● (品種、排水対策、肥培管理を中心に)

農研機構中日本農業研究センター  
転換畑研究領域 大野氏

## ●申し込み方法●

農家の皆様のご参加歓迎します！

### 【参加登録方法】

次のURL又はQRコードから事前にお申込みください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokuriku/form/seisan/mugimamesaron.html>

※お申込みによって得られた個人情報は、厳重に管理し、本サロンの運営のみに使用させていただきます。



### 【お問合せ】

北陸農政局生産部生産振興課 赤松、藤村  
TEL: 076-232-4302 (直通) FAX: 076-232-5824

申し込み締切 令和5年1月24日(火) 15時